



第41回日本美容皮膚科学会総会・学術大会

日本美容皮膚科学会  
Japanese Society of Aesthetic Dermatology

スイーツセミナー3

# より早くキレイを目指す 治療のために

【日時】2023年8月19日(土) 14:00~15:00

【会場】第3会場 京王プラザホテル 5F コンコードボールルームA  
〒160-8330 新宿区西新宿2-2-1

座長

山本 有紀 先生 和歌山県立医科大学 病院教授  
和歌山県立医科大学 皮膚科 准教授

大塚 篤司 先生 近畿大学医学部  
皮膚科学教室 主任教授

演者

美容医療でのダウンタイム時に必要なスキンケアを考える

木村 有太子 先生 順天堂大学医学部  
皮膚科学講座 講師(非常勤)

皮膚科医が指導するニキビ治療、  
メイクアップ・スキンケア~患者指導時の実践的なポイント~

許 郁江 先生 ほう皮膚科クリニック 院長

共催:第41回日本美容皮膚科学会総会・学術大会 / アクセーヌ株式会社

ACSEINE

## 美容医療でのダウンタイム時に必要なスキンケアを考える

### 木村有太子 先生 順天堂大学医学部 皮膚科学講座

コロナ禍でダウンタイムがある美容施術を受けた人が増加したと言われている。リモートワークが当たり前になり、出勤する必要が減ったことや、マスク生活になり顔を隠しやすかったことが美容施術によるダウンタイムの存在があまり負担にならなかったと考えられる。レーザー後の紅斑や痂皮形成、フラクショナルレーザー、マイクロニードリング、水光注射などの施術は低侵襲性とはいえ、施術直後には軽度の出血、高度の紅斑、腫脹、浮腫が生じることもある。回復期には乾燥が生じたり、炎症後紅斑から炎症後色素沈着が生じることもある。刺激性のあるピーリングやレチノール含有化粧水や美容液や乳液も紅斑が落ち着くまでは控え、低刺激で保湿力の高いもの、抗炎症作用・鎮静作用が含まれる基礎化粧品をすすめている。バリア機能が回復するまでは職場などにも保湿剤を持参し、乾燥したときに上からプレスするように追加で外用をすすめている。炎症後色素沈着や肝斑を増悪させないように、日焼け止めの使用や赤みをカバーするファンデーションも必要であるが、摩擦しないような塗り方の指導や柔らかいテクスチャー、また落としやすい製品をすすめる。

マスクをする場面も徐々に減ってきており、通常の生活に戻りつつある今、もう一度美容治療のダウンタイム時に必要なスキンケア、メイク指導など考えてみたい。

<b>【ご略歴】</b> 2003年 獨協医科大学医学部卒業	2013年 順天堂大学浦安病院皮膚科 准教授
2003年 順天堂大学医学部附属順天堂医院 研修医	2016年 ドイツ ミュンスター大学病院皮膚科 留学
2006年 順天堂大学浦安病院皮膚科 専攻生	2016年 順天堂大学浦安病院皮膚科 准教授
2012年 医学博士、順天堂大学浦安病院皮膚科 助教	2021年 順天堂大学医学部 皮膚科学講座 講師(非常勤) 現在に至る

## 皮膚科医が指導するニキビ治療、メイクアップ・スキンケア～患者指導時の実践的なポイント～

### 許 郁江 先生 ほう皮フ科クリニック

ニキビ治療のアンメットニーズであるニキビ瘢痕は、患者さんのQOLを低下させる大きな要因になっている。ニキビ瘢痕について考え、瘢痕を残さないために、早期に積極的に治療に取り組む必要がある。同時に、学業や仕事の効率を落とさないような、ニキビ痕を目立ちにくくするメイクアップのコツ、普段のスキンケアについて我々皮膚科医がアドバイスできることが数多くあると思う。患者さんの肌質や日常生活を見据えたニキビ治療と、同時にガイドラインでも推奨されているスキンケアやメイクアップ指導も我々に課せられた重要な課題であると考えます。

日常診療を通じて、患者さんに提供できる、ニキビ治療薬と一緒に使える製品について当院での工夫を紹介する。ニキビ治療を楽しくし、患者さんの笑顔を導くようなニキビ診療のエッセンスをお伝えしたい。

<b>【ご略歴】</b> 1995年 韓国ソウル大学医学部卒業	2000年 米国ハーバード大学医学部皮膚科に research fellowとして留学、International Training Program for Dermatology修了
1997年 岡山大学大学医学部皮膚科入局 岡山大学医学部附属病院皮膚科勤務 荒田次郎教授に師事、皮膚感染症について学ぶ	2002年 特定医療法人里仁会 興生総合病院 皮膚科勤務(皮膚科医長)
1999年 岡山大学大学院医学研究科入学 皮膚の天然の抗菌物質である human $\beta$ -defensin 2について研究	2003年 岡山大学大学院医学研究科修了 2007年 ほう皮フ科クリニック開設(岡山県倉敷市) 現在に至る